

「JR東日本『みどりの窓口』削減方針を凍結」と報道



これまでJR東日本では指定席券売機やえきねっとなど、「みどりの窓口」を介さない販売方法の整備や、チケットレスサービスの拡大・浸透により、お客さまのご利用状況が変化してきたことを理由に「みどりの窓口」の削減を進めてきました。しかし、インバウンドなど需要の回復が見られ、「みどりの窓口」の混雑が目立ってきたことから削減方針を凍結、閉鎖した箇所も機械が残っていれば繁忙期に臨時に開設すると言いますが・・・。

報道を受けて職場では・・・

- ・当面は窓口を維持と言うが職場は人が足りず、今ある窓口を全て開けることすら困難だ。企画業務など以前よりも業務量が増えているのに更に仕事を増やすのか。
- ・臨時に開設する窓口について、「どこ」「いつ」と言った具体的な営業体制などの説明がない。
- ・みどりの窓口の閉鎖が進み残った窓口はいつも混雑、無くなった駅では不便になったと苦情を受け続けてきた。今さら方針変更しても遅すぎる。
- ・今回に限った話ではないが、報道が先で職場での説明が後。普通は逆ではないのか。



窓口の混雑解消が必要なことは駅で働く私たちも理解していますが、窓口が増えても働く人が増えなければ、私たちの業務量がさらに増加することになります。「融合と連携」で企画業務や複数駅勤務など、私たちの業務量はすでに増加しています。職場で奮闘する組合員・社員に対して、丁寧な説明と努力に報いる姿勢を会社は示すべきです！

「安全・健康・ゆとり」ある職場を
JR東労組に結集して共に創り出そう！！

